令和３年度(2021 年度)

東京富士大学大学院　経営学研究科

一般入学試験Ⅰ期

論　文

＜注意＞

1. この冊子には，問題文(２枚)が綴じてあります.
2. 試験開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません.
3. 問題用紙、解答用紙の表紙にある受験番号，氏名欄を必ず記入しなさい.
4. 解答は「横書き」「日本語」で記入のこと.
5. 原則として，この冊子は交換しませんので，注意して扱って下さい.
6. 試験終了後，この冊子と解答用紙の両方を回収します.

受験番号	氏名

次の問題１から８の中から２問を選択し所定の用紙(400 字)に解答しなさい.
また，選択した問題番号を〇で囲みなさい.

問題１．スターバックスと普通のカフェ（喫茶店）の違いを、ターゲットやマーケットセグメンテーションの視点から比較しなさい。また、スターバックスのストア・コンセプトを自分の言葉で表現しなさい.

問題２．　フレデリック・テイラー（F. W. Taylor）の「科学的管理法（Scientific management)」が誕生する前、工場では「成り行き管理（Drifting management）が行われていた。「科学的管理法」と「成り行き管理」との決定的差異はどこにあると考えられますか。あなたの見解を述べなさい。その際に「科学的管理」と「成り行き管理」を簡単に説明してください.

問題３．バーナードの組織の３要素をあげ、「３つの要素」について、それぞれ自分の言葉で説明してください.

問題４．サービス経営の特性について、モノづくり（製造業）との比較で説明してください.

問題５．法人税の課税所得に関する計算の仕組みについて説明してください.

問題６．法人税法上の所得を計算する際に行う税務調整の例を２つ挙げて、その税務調整が必要な理由についてそれぞれ記述せよ.

問題７．従来、会計基準は会計処理上の統一された唯一の規範を示すものであるため、一つであるべきとする考え方(シングルスタンダード)が主流であった．しかしながら、現在、財務諸表の作成に際してわが国で使用されている会計基準としては、企業会計基準委員会(ASBJ)の設定する会計基準等の他に、アメリカ財務会計基準審議会(FASB)が作成する会計基準、国際会計基準審議会(IASB)が作成する国際財務報告基準(IFRSs)、修正国際基準、中小指針＊１、中小要領＊２などがある.
そこで、財務諸表の作成に際して、現在複数の会計基準が使用できる理由を説明しなさい.
＊１:『中小企業の会計に関する基本要領』(中小企業の会計に関する検討会：中小企業庁)
＊２:『中小企業の会計に関する指針』(中小企業の会計に関する指針作成検討委員会:日本税理士会連合、日本公認会計士協会、日本商工会議所及び企業会計基準委員会)

問題８．　大手食品メーカー森春製菓株式会社では、製品の検査部門の製造間接費が正しく製品に配賦計算されているかにつき、プロジェクトチームを組み、検査部門における原価の発生状況を検討した.

入手された製造間接費データは下記の通りである.（金額単位：円）

検査部門・原価内訳	金額
検査段取費	24,000,000
本検査費	480,000,000
検査用コンピュータリース料	120,000,000
合計	624,000,000

各製品（ＢＷ品とＴＤ品）に関するデータは次の通りである.

	ＢＷ品	ＴＤ品
当期製造数量	572,000,000 個	200,000,000 個
資材管理部門における材質検査所要時間 （当期、製造実績全数量に対して）	400 時間	800 時間

	原価作用因	ＢＷ品	ＴＤ品
検査段取費	受入回数	200 回	100 回
本検査費	検査回数	100 回	400 回
検査用コンピュータリース料	検査所要時間	400 時間	800 時間

このような状況の下で、外部コンルティング会社から材質検査について製品単位当たり、ＢＷ品については0.７円で、ＴＤ品については2.８円で品質検査を行う旨の提示があった。これに対して、Ｑ氏は、次のようにコメントした.

「ＢＷ品とＴＤ品ともに、製品単位当たり検査費用が約0.８円である．従って、ＢＷ品についてはアウトソーシングして、ＴＤ品については従来どおり内部で検査すべきである.」

このコメントの適否について根拠を示して論じなさい.